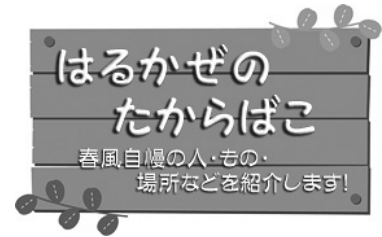




第357号
2024年3月1日
編集・発行
春風地区
コミュニティ委員会
(春風公民館)

スキーで鍛えた足腰もたのもしく
百寿超え、ますます元気です



甲子園春風町 宇川 名留美さん(101)

今年、102歳を迎える宇川さんは、大正11(1922)年生まれ。食事に好き嫌いもなく、自分の足で歩く元気さと、朗らかで明瞭な語り口は、とても年齢を感じさせません。まさに「理想のおばあちゃん!」な宇川さんを紹介します。



とても明るくて社交的なところが魅力な宇川さん

宇川さんが生まれ育つたのは、兵庫県城崎郡日高町。実家は禅宗の寺で、宇川さんは2人姉妹の妹として生まれましました。姉は長女らしく厳しくしつけられました。宇川さんは自由奔放に育ち、幼い頃から近くの神鍋高原で、冬になると毎日、スキーに興じていました。年頃になると、同志社大学生の冬季合宿にも遊びに行くほどだったので、腕前も相当だったことでしょう。「おかげで足腰が鍛えられたのかもしれない。いくつになっても長い距離を歩くのは全然苦じゃありませんでした。自転車も84歳まで乗っていましたよ」とにっこり。



若き日

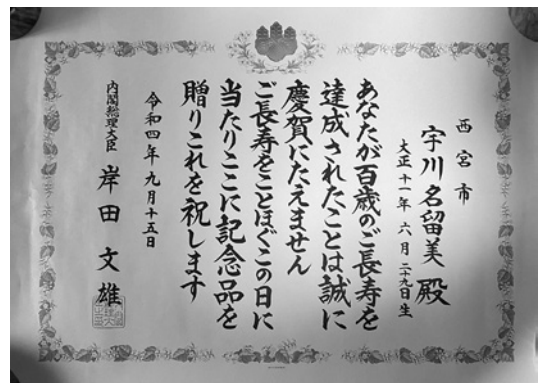
現在はカート付きのバッグを押すものの、しっかりと自分の足で歩きます。靴も少しヒールのあるものを選び、おしゃれ心を忘れないのがいいですね。そんな原点を築いた故郷では、豊岡高等女学校を卒業して、22歳で結婚。現・みずほ銀行に勤務していた夫の文夫さんと共に豊岡に9年住んだ後、甲子園四番町へ転勤となりました。「社宅仲間といつも集まって洋裁をしていたのがいい思い出です。娘の服を作ったりして本当に楽しかった。みんな仲が良くて、春風に引越しても、よく会っていました」。今の時代のママ友文化が、当時より盛んだったこともほほ笑ましく、かつ興味深い話ですね。

甲子園四番町に16年住んだ後、甲子園春風町に引越してきて、この街が一番のふるさとなり、甲子園へ転居後も実家を経済的に支え続けたりなどの苦労も重ねましたが、文夫さんを92歳で見送り、現在は息子さん(76)と穏やかに2人暮らしをしています。好きな食べ物?と聞くと「なんでも食べる!」。幼い頃はハイカラな父がよく実家です。

また、病気とも無縁です。これまで寝こんだのも風邪程度で、インフルエンザにもかかったこともなし。椅子から落ちて腰を骨折したことも、孫のおままごで足を骨折した程度で、それもすぐに復活しました。

眼鏡なしで文字を読み書きするのも驚きで、一緒にいても年齢を感じさせないとはまさにこのことです。

「姉が104歳で亡くなったので、そこは超えたいかな」とお茶目に笑う宇川さん。気負いもなく、自然体に過ごす姿は、憧れそのものでした。



国からも表彰されました

1階ロビーの様子



1月には『宮っ子』誌面でも紹介した春風小5年生の辰(たつ)年年賀状も掲示されていました

公民館行事だけでなく、他地区、施設の案内も掲示されています



春風公民館

憩い・学び・ふれあい

今回は、私たちのコミュニティにおいて大切な拠点である「春風公民館」を紹介いたします。公民館ってどんなところ？どんなことをやっているの？今まで公民館になじみのなかった人も、ふらりとロビーに足を踏み入れてみてください。楽しいことが見つかりますよ！

ごあいさつ

春風公民館館長

樋口 裕さん



来館者に気さくに対応している館長の樋口さん

春風公民館は市内11番目の公民館として昭和38(1963)年に誕生し、文教住宅宣言が行われる中、地域の交流、学びの場としての歴史があります。

現在は、赤ちゃんから高齢の人まで大勢の皆さんが利用する地域に根ざした公民館となっています。また公民館活動は、公民館運営協議会や地域学習推進員の皆さんの支援の下、「憩い」「学び」「ふれあい」の広場として活用されています。

これからも、来館する人が「ほっとできる公民館」であるよう取り組みたいと思います。今後も、皆さんのご理解、ご協力をよろしく願います。

イベント紹介

「願いだるま」

(12月2日)

参加者は、講師の南山省司さんから、^{だるま}達磨大師の話^{だるま}を聞き、だるまのいわれを学びました。その後、だるま作りに挑戦。各人、願いごとをだるまに込めて色を塗り、顔を描き、お気に入りの作品に仕上げました。



南山さんの説明を聞く子どもたち



個性豊かなだるまが出来上がりました

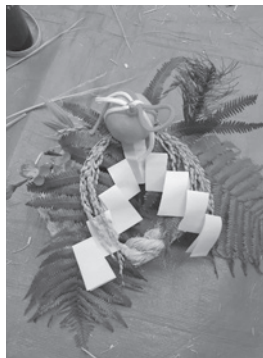
「しめ飾りを作ろう」

(12月26日)

NPO法人こども環境活動支援協会の講師の人から、一つの作業の説明を受け、親子で参加した小学生たちは慣れない手つきで、稲わらを使ったしめ飾りを仕上げていきました。出来上がったしめ飾りは、お正月に各家庭の玄関を飾ったことでしょうか。



仕上がったしめ飾りを持ってみんなで記念撮影



本格的なしめ飾りです

令和5年度

甲子園地域安全大会

甲子園防犯協会理事

櫻井 俊一

甲子園防犯協会と甲子園警察署主催、西宮市後援により、安全で明るく住みよい街づくりの実現のため「甲子園地域安全大会」が、昨年10月7日になるお文化ホールで開催されました。

主催者あいさつに続き、防犯功労者の表彰と、防犯講話「特殊詐欺の手口と対策」が行われ、参加者の自主防犯意識の高揚と地域安全活動への参加意欲の醸成が図られました。

続いて春風地域では、上甲子園・上門一登さん、甲子園浜田町・坂野実さん、甲子園春風町・吉井信博さんの3人が功労者として表彰されました。また最後には、兵庫県警察音楽隊による吹奏楽演奏が行われ、楽しく有意義な大会となりました。



(左から) 上門さん、吉井さん



兵庫県警察音楽隊の華やかな演奏がステージを盛り上げました



表彰される坂野さん



コンサートのプログラム

久しぶりの本格的なふれあいクリスマスコンサートが、昨年12月3日に上甲子園中学校体育館で開催されました。「コンサート」の名にふさわしく、地域の幼稚園児から社会人までの幅広い楽団が歌、演奏を披露し、体育館のフロアを埋めた観客を楽しませていました。演奏後は、集まった子どもたちにプレゼントが配られ、クリスマス気分を味わうことができました。

ふれあいクリスマスコンサート



大きな舞台の上でも物おじせず歌を披露した春風幼稚園の園児たち



クリスマス風いでたちの春風トランペット鼓隊



上甲子園中学校吹奏楽部の迫力あるマーチング演奏に聴き入る参加者



『東京ブギウギ』など話題曲をたくさん演奏した鳴尾吹奏楽団



借り物競争。元気いっぱい！

**ボーイスカウトの
新年恒例行事**

1月6日、春風地域で活動するボーイスカウト西宮第2団で、「新年の集い」が行われました。さまざまな年代のスカウトたちが瓦林公園に集まり、新年のセレモニーを行った後、借り物の競争などのゲームをして楽しみました。昼には保護者が用意した豚汁をみんなで食べました。西宮第2団では毎年、年始にこの行事を行っていますが、豚汁がふるまわれるのは4年ぶりのこと。スカウトたちは何杯もおかわりをしてうれしそうでした。また翌朝には、高校生と大学生のスカウト、指導者で日の出ハイキングを行いました(岡本八幡神社→六甲最高峰→有馬温泉)。

今年1年、この調子で元気いっぱい活動してほしいですね。



締めくくりはやっぱりこのポーズで！

**上甲子園中学校吹奏楽部
定期演奏会**

上甲子園中学校吹奏楽部の第21回定期演奏会が、昨年12月27日にアミティ・ベイコムホールで行われました。昨年の関西吹奏楽コンクールで金賞を受賞した曲やジブリの曲などで魅了した後は、恒例の上甲メドレーで会場を盛り上げました。また春風トランペット鼓隊をゲストに迎え、合同でジャンボリーミッキーを演奏した際には、会場の子どもたちもステージに上がり一緒に踊りました。

演奏会の締めくくりはマーチングステージ。代々引き継がれる圧巻のステージはいつ見てもかっこいい！この日、3年生は卒部しましたが、後輩たちがまた伝統を引き継いでくれることでしょう。



全国都道府県対抗女子駅伝で6区を走った杉永さん(左)

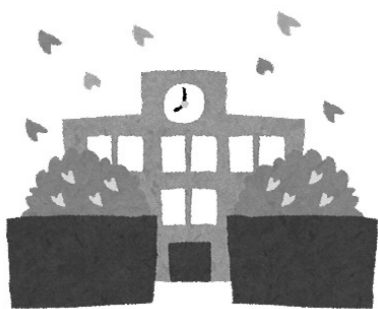
**駅伝で上甲子園中学校
OBが大活躍**

兵庫県高校駅伝大会で、園田学園高校3年の杉永美空さん(陸上部OB)が第1区区間賞を受賞。強豪校がひしめくなかでの受賞は快挙です。

西宮東高校1年の安達琉暉さんと石田陽楽さん(吹奏楽部OB)、八田将吾さん(陸上部OB)は1年生ながらメンバーとして走り、東高校男女初の県大会アベック出場に貢献しました。

市立西宮高校2年の大上翔太郎さん(サッカー部OB)は6区を走り、近畿大会への出場を決めました。

また杉永さんは全国都道府県対抗女子駅伝競走大会の兵庫県代表メンバーにも選ばれ、1月14日に行われた同大会で第6区を走り、トップでたすきを受け取り、そのまま7区へ渡すという重責を見事に果たしました。上甲中OBの活躍、これからも楽しみです。



- 〔卒業式〕
- ☆上甲子園中学校 3月8日(金)
- ☆春風幼稚園 3月18日(月)
- ☆春風小学校 3月21日(木)
- 〔入学式〕
- ☆上甲子園中学校 4月11日(木)
- ☆春風幼稚園 4月12日(金)
- ☆春風小学校 4月10日(水)



編集手帳

「和食が国連教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産に登録されて10年」との記事を見つけました。

和食の特色はうまみだが、だしを取る昆布の生産がうま味調味料などの登場で減少し、国内昆布のほとんどが採れる北海道では、不作や昆布漁師不足が深刻化していることから「地域の宝に気づく機会」の提供が大切」と続いています。

今号で取り上げた「令和5年度甲子園地域安全大会」の記事のように、春風地域で3人の受賞者が表彰されたこともまさに地域の宝だと実感しています。その第一報を提供した人にも、改めて感謝を申し上げます。

葬儀社 ムラオ

代表 村尾和男

地域密着で真心込めてお世話させていただきます。

ご予算は15万円より承ります。

なんなりとご相談ください。

寝台車の手配も行います。(24時間、無休)

〒663-8165 西宮市甲子園浦風町1-13

TEL&FAX 0798-36-3627

携帯 090-5152-1690